

ふるさと花園を愛し
夢とところざしを持ち
まごころと思いやり
のある花中生

志高く

真摯に学ぶ生徒
心を磨く生徒
体を鍛える生徒

2020.5.7

制作者

萩原大典

夢を持ち 未来へ羽ばたく 3年生

休校期間が2ヶ月を超えました。緊急事態宣言が出てから1ヶ月です。一部の大人でさえ我慢できない、ストレス解消といいながら遊戯施設に行ってしまうほどの異常事態。若いみなさんにとっては、想像もできないくらいのストレスになっていることでしょう。しかし、もし家族の誰かが感染してしまった時の事を考えると、何とか堪えることができるのではないのでしょうか。入院中は、どのような事情があっても誰にも会うことができません。それを考えれば今は、少なくとも緊急事態宣言が緩和されるまでは我慢のしどころです。ストレスと上手につきあいながら、しかし、学校再開後のことを念頭に置いて毎日を過ごしてください。

学生の本分尽くしたい

新型コロナウイルスの感染収束が見通せず、大型連休明けの登校が延期されました。僕は受験生なので、自学自習で勉強を進めています。理科と数学は一単元分の学習を終えました。学校が再開すれば、復習の場になりたいと思います。自宅での筋力トレーニングとジョギングも欠かしません。

今、中学生の自分にできることは、学生の本分を尽くすことだと思っています。よく食べ、よく学び、健康を保ちたいです。友達と笑い合える日が一日でも早く来るよう祈っています。

(富山市 中学生)

子どもたち 休校中も成長

新型コロナウイルス感染拡大で気持ちも暗くなりがちだが、庭のバラが成長し、季節を感じている。

小中高に通う三人の子どもたちは、休校措置を受けて、自宅で過ごす時間が増えている。子どもたちは当初、短期休暇のつもりでいたようだが、刻々と変わる状況に事態の深刻さを理解したようだ。

対応に追われながらも、宿題を郵送してくれる中高の教職員には感謝している。子どもたちは自主的に計画を立て、宿題に取り組むようになった。余った時間に映画「レ・ミゼラブル」など、名作に触れて感性を磨いている。子どもたちの成長が頼もしい。

(ふじみ野市 看護師)

保護者の方へ

毎年大型連休といえど、いくつかの部活動の大会に出場する、そのために練習をする、すると、家を空けることがほとんどという状況でした。それが今年は真逆です。家にいる時間の方が圧倒的に長いです。すると、今まで見えていなかったことが必然的に目に飛び込んできます。我が家には3人の子供がいます。こちらから言わなければ勉強というものに自分から取り組むことはほとんどありません。勉強しなくてよく不安にならないなというくらい呆れるほど遊んでいます。

先日インターネットの記事を読みました。

「休校期間が長いこの時期だからこそ、学力の差が今まで以上に広がる恐れがある。そしてその原因は紛れもない『家庭力である』。今まで多くのことを学校に丸投げしていたことを反省し、家庭でやるべきことをしっかりやっていたのかを再確認する必要がある。」

あの時こうしておけばよかったと子どもに後悔させることがないように、子を持つ親としてお互い、やるべきことにしっかり取り組ませていきましょう。

また、医療従事者の方々への心無い言動をする輩がいるというニュースもよく耳にします。信じられないことで、絶対にあってはいけないことですし、ありえないことです。そういったことについても、家庭で話ができるといいと思います。